



むかわ町学校給食センター
鶴川学校給食センター
42-2211
穂別学校給食センター
45-2888

新緑が鮮やかな季節となり、外で過ごす時間がますます楽しく感じられる時期ですね。新しい学年にはそろそろ慣れた頃でしょうか? 新しい環境で楽しいこともたくさんある一方で、疲れがたまり体の不調があらわれやすい時期です。1日3食のバランスのよい食事を基本に、生活リズムをととのえましょう。



子どもの日は、子どもたちの成長と幸せを願ってお祝いする日です。もともと5月5日は「端午の節句」といい、男の子の健やかな成長を祈ってお祝いする日でしたが、1948年に「子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかるとともに、母に感謝する日」と決められ、男女関係なく子どもみんなをお祝いする日となりました。



こいのぼりやかぶとを飾る。

鯉という魚は、強くて流れが速くて強い川でも元気に泳ぎ、滝をものぼる魚です。たくましい鯉のように、子どもたちが元気に成長することを願う意味が込められています。かぶとは昔、体を守るために使われていました。そのため、子どもの身を守って元気に大きく育つように願いが込められています。



菖蒲湯に入る。

菖蒲とは、刃のような細長く鋭い葉をもつ植物です。昔から、端午の節句には菖蒲の葉を入れたお湯につかる風習があります。菖蒲の葉の爽やかな香りが病気や悪いものを追い払ってくれると考えられています。



行事食を食べる。

かしわもち: 柏の葉は新しい芽が出るまで落ちないというところから、子孫繁栄を願って食べられます。
たけのこ: たけのこはまっすぐに伸びることや成長の早さから、縁起物として食べられます。
出世魚: 魚の中でも成長すると名前が変わる魚が出生魚と呼ばれ、縁起物として食べられます。ブリやカツオなどがよく食べられています。



5月のむかわ町給食メニュー

5月は子どもの日の行事食や、むかわ産の旬の食材を使用するメニューが登場します。

5月2日 子どもの日献立

子どもの日の行事食として「若竹汁」「ぶりの生姜醤油焼き」「かしわもち」が登場します。それ各自的料理や食材に願いや意味が込められています。詳しくは左ページを見てください!



5月21日 むかわ食育の日

今年のむかわ食育の日は、むかわ産の旬のアスパラガスを使用して作る「アスパラのじゃこ和え」が登場します。新鮮なアスパラガスの甘みと、しらすの塩気がよく合います。また、みそ汁の具にはむかわ産のしいたけ、真だらの下味にはむかわ町の小坂農園さんの塩こうじを使用します。むかわ産のおいしい食材を味わって食べましょう。

そのほか、レタスやほうれん草などのむかわ産の食材を使ったメニュー、新メニューがたくさん登場します。お楽しみに!



むかわ町の給食について

むかわ町の給食は、鶴川学校給食センターと穂別学校給食センターの栄養教諭2名で考えています。

4・6・9・11・1・3月は、鶴川学校給食センターが

5・7・8・10・12・2月は、穂別学校給食センターが担当です。

今年度も安心でおいしい給食を児童・生徒のみなさんに提供していきます。

1年間どうぞよろしくお願い致します。



← 献立表・給食だよりはむかわ町のホームページでも見ることができます。過去の献立も掲載していますので、ぜひご覧下さい。

むかわがっこきゅうしょく
鶴川学校給食センター
穂別学校給食センター
岡部 ななみ
七海 ななみ
愛夏 ななみ



